

あじさいネット

OFF LINE 通信

2021.10
Vol. 40

Regional Health Information Network



小茂田のそば畑（対馬市）

研究会 報告	第9回あじさいネット研究会 開催報告	p.2-3
会員様 の声	情報提供病院 長崎みなとメディカルセンター 患者総合支援センター	p.4
会員様 の声	情報閲覧施設 はらだ内科医院 原田 義高 先生	p.5
お役 立ち	情報提供病院 連絡先一覧	p.6-7
会員様 の声	情報閲覧施設 たなか循環器内科 田中 協栄 先生	p.8
KEY PERSON	富士通Japan株式会社 田中 良樹 氏	p.9
ご案内	● あじさいネット機能一覧／入会案内 ● あじさいネットからのお知らせ／あじさいな人々／編集後記	p.10-11 p.12

現在の運用状況

- 患者登録数： 140,182 名
- 会員数： 1,698 名
- 情報閲覧施設数： 363 施設
- 情報提供病院数： 37 施設

(令和3年8月26日現在)

賛助会員

- ◆ 日本電気株式会社 医療ソリューション事業部
- ◆ 株式会社LSIメディエンス
- ◆ 株式会社NTTデータ中国
- ◆ 富士通 Japan 株式会社 長崎支店
- ◆ 株式会社ディーソールNSP
- ◆ 株式会社インテグリティ・ヘルスケア

2021年6月19日(土)開催

第9回 あじさいネット研究会 —私のとおきのおきの使い方—

プロローグ： あじさいネット全体の 機能説明

- あじさいネットが備える
多種多様な機能と最新情報

松本 武浩 先生

(長崎大学病院医療情報部 准教授
あじさいネット理事)

ウェビナー配信会場(長崎県医師会館)の様子



第9回目となる「あじさいネット研究会」が6月に開催されました。あじさいネットが備える多種多様な機能と最新情報をお届けし、第1部を「あじさいネットを利用した事例報告」として4名の方々にご発表いただきました。第2部では、「あじさいネットの様々な価値を多くの医療従事者に知ってもらい、更なる活用と参加施設をより広げていくには？」についてシンポジストでの総合討論が行われました。

今年はZOOMウェビナーを使用した初のオンライン開催となりましたが、223名のご参加をいただき、盛況のうちに終了いたしました。

なお、この講演内容は、あじさいネットポータルサイト「AMEC TV会議・ビデオ配信」の中の「医療関連ビデオ配信」にて後日配信予定としております。研究会へご参加出来なかった方は、ぜひ動画にてご覧ください。

研究会が「医師向け最新医学・医療情報サイト m3.com」にて公開されました！

前半「<https://www.m3.com/news/iryioishin/953238>」

後半「<https://www.m3.com/news/open/iryioishin/954108>」

※m3.com (<https://www.m3.com/>) の会員でない方は会員登録(無料)が必要です。

第1部：あじさいネットを利用した事例報告

第1部発表(あじさいネットを利用した事例報告)の様子

あじさいネットの重傷外傷コンサルトにおける有用性

- 1 宮本 俊之 先生 (長崎大学病院 外傷センター 准教授)

あじさいネットで問題点を見逃さない！ 骨髄移植の病院連携

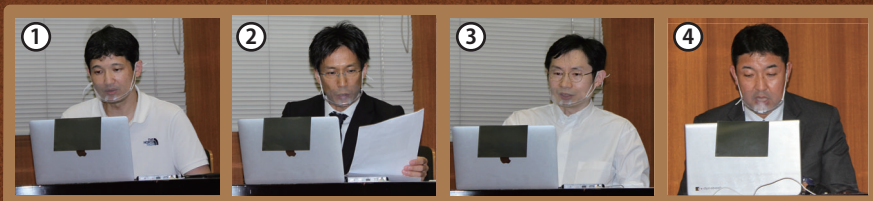
- 2 澤山 靖 先生 (長崎大学病院 血液内科 講師)

妊婦さんへの自己管理に役立つ「すくすく」

- 3 山崎 健太郎 先生 (山崎産婦人科医院 院長)

地域医療の問題解決へ向けた当市の取り組みについて

- 4 山下 泰成 氏 (西海市役所 保健福祉部 健康ほけん課 医療政策班 副参事)



第2部(シンポジストの発表)の様子

第2部：シンポジウム・総合討論会

「あじさいネットの様々な価値を多くの医療従事者に知ってもらい、更なる活用と参加施設をより広げていくには？」

病診連携 あじさいネットとの10年

- 1 渡部 誠一郎 先生 (わたべクリニック 院長)

あじさいネットを活用した医科歯科連携について
～新指標“PISA”による糖尿病・歯周病治療連携～

- 2 貝通丸 剛 先生 (貝通丸歯科 院長)

地域医療情報ネットワークを活用したオンライン診療

- 3 吉額 裕之 先生 (井上病院 院長)

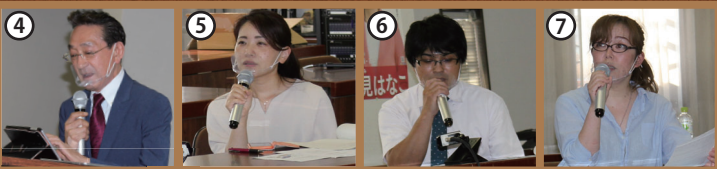
多職種連携を利用した在宅医療の実情と課題

- 4 出口 雅浩 先生 (出口外科眼科医院 院長)

- 5 宮崎 久美 氏 (長崎県看護協会 訪問看護ステーションYOU 訪問看護師)

- 6 佐藤 真也 氏 (メディカルネットワーク居宅介護支援事業所 主任ケアマネジャー)

- 7 渋谷 まり 先生 (それいゆ薬局 薬剤師)



総合討論の様子



《賛助会員様広告欄》

NEC

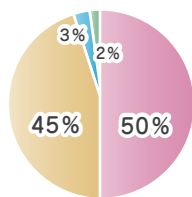
ともに奏で、ともに創る。私たちの未来。

私たちは世界中の人びとと協奏しながら、
先進のICTで、明るく希望に満ちた社会を実現していきます。

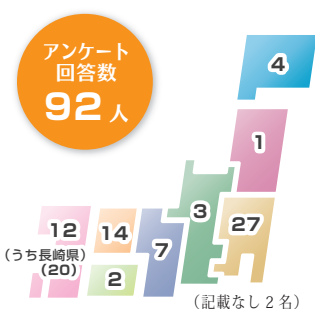
Orchestrating a brighter world

本研究会の満足度

- 大変満足した…50%
- 満足した…45%
- 普通…3%
- やや不満…2%



回答された方の居住地



本日の講演の地域医療連携ネットワークの機能の中で何を利用したいと思いますか？

- 西海市の取り組み。
- 妊婦さんの自己管理ツールすくすく。
- 医科歯科連携。
- 診療情報の概況や検査データ目標値の共有、生活課題の共有や患者本人の気持ち、意見の表明、ACPの寄り添いなど。
- 当院医師へあじさいネットの活用を促したい。
- オンライン診療、地域連携パス、多職種連携。

あじさいネットに追加してほしい機能を教えてください

- 多職種連携の充実。
- 看護サマリーなどの連携があじさいネット上でできると標準化された患者情報の連携につながると思う。
- 患者からもアクセス可能な環境がほしい。自身の診療歴、服用歴が確認できるとよい。
- 患者様のスマートフォンを介してAppleWatchなどのウェアラブルデバイスとの連携がすずめば在宅医療でも活用ができるのではないかと感じている。
- デジタルデバイドの問題は高齢者を中心に大きな課題かと思うので、本人の家族がうまくこのネットワークに参加できるようにしたらより利便性は高まるのではないかと思う(高齢者の見守りにも応用が可能かと思う)。
- ケアプランの情報、身長体重や栄養状況。
- AIによる診断補助ツールを組み合わせることで希少疾患等の早期診断に繋がれば素晴らしいと思う。
- 病病連携の拡大。
- 患者が自身の診療情報を参照できる機能。
- 全国の医療機関との連携が進むといいと思う。

お詫び申し上げます

講演中の音声や映像が途切れる等の問題が発生し、演者及び視聴者の皆様には大変ご迷惑をお掛けしまして誠に申し訳ございませんでした。

今回の弊室でのオンライン開催が初めてという事もあり運営に不手際がございました事お詫び申し上げます。

来年の研究会もWEB配信を併用する予定としております。その際は皆様にご参加いただけましたら幸いです。今後とも、よろしくお願い申し上げます。

沢山のご参加とご意見をいただき誠にありがとうございました。



本研究会への感想

- ◆ 昨年の医療情報学会で発表を聞き、気になって参加させていただきました。地域連携のより発展した形になっていると思います、いろいろ勉強になりました。またの機会を楽しみにしています。
- ◆ 初めて参加させて頂きました。西海市の動きなど行政が動いて下さっており、今後良いモデルケースとなればと思います。利用する上でのメリット・デメリットも色々ありますが、多職種連携の非常に有効なツールだと改めて思いました。
- ◆ 現在、大学院で地域医療ネットワークシステムを研究しております。実地域医療でネットワークを使っておられる先生方の意見をお聞き出来たのは非常に勉強になり、これらのネットワークシステムをどのように運用していくかについて多くの示唆を得られました。
- ◆ 看取りがあった報告に対して、施設を超えて関係した医療者が書き込まれたエピソードに感銘いたしました。情報が連携したことで、それまで以上に人と人がつながっていく様子を伺い知ることができました。本当に勉強になりました。素晴らしい取り組みです。拝聴させていただき感謝申し上げます。
- ◆ 明治維新は薩摩と長州から、医療ネットワークは長崎県と宮城県からと感じました。楽しく稼ぎたい医療人も多い中、長崎の多くの職種の方は維新の志士のように思えます。生活習慣病と診断された患者は、1年で半数が受診しなくなるので、医療ネットワークでドラッグストアから再受診を促すような連携が出来ればと思います。東京では、まだ志の共有しかできませんが、倒幕の日まで微力ながら協力したいと思います。
- ◆ あじさいネットをお使いになられている全てに共通して「患者さんのために」を、強く感じました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。
- ◆ 本日はありがとうございました。YaDocを利用したオンライン診療やPHRで新しい使い方ができるようになったことや、あじさいネットを利用することでどのような判断・説明がなされたかを共有できて、病診間・多職種で改めて聞きだしたり矛盾したりすることなく患者さんに対応可能であること、密な連携が行われている実際など、どのように使われているか、その現状やメリットについてとてもよく分かりました。一方で、コストについての指摘が多くあったのが印象的でした。今後は地域限定に限らず国全体でのカルテ共有も出てくるかもしれません。ぜひともどのような共有のあり方が患者個人々々、医療福祉保健関係者にとって良いのかその理想像を提示して進めてほしいです。PHRを活用した臨床研究もとても興味があります。
- ◆ 長崎県では本ネットワークへの加入率が高く、またオンライン診療やPHRとの情報連携など様々な先進的な取り組みが本システムを基盤に展開されており事実上の医療・介護のインフラ(医療情報プラットフォーム)として使用されている実感を強く感じました。また、周産期の死亡率の低下や、救急医療における迅速な手術対応などネットワークの使用によるエビデンスも出つつあるのではないかと思います。是非ともこのネットワークを永続的な仕組みとして残していただくよう診療報酬を含めた費用面での手当を強く国や自治体に働きかけていただくようよろしくお願い致します(個人的な感想ですが導入のエビデンスを論文や学会誌にどんどん発信していくことで客観的な説得力が増すのではないかと思います)。



コロナ禍でも退院支援を止めず、 あじさいネットTV会議の利用で促進する

長崎みなとメディカルセンター 患者総合支援センター

当院のあじさいネット TV会議の利用状況

TV会議を用いた退院時共同指導は、2018年度診療報酬改定により算定が可能となっています。当院の退院時共同指導は2019年度は110件あり、そのうちあじさいネットTV会議は1件のみでした。2020年度の退院時共同指導は新型コロナウイルス感染症の影響もあり46件と減少しましたが、あじさいネットTV会議は9件と増加しました。今回、当院の患者総合支援センターにおける退院時共同指導の状況とTV会議の活用について説明させていただきます。

コロナ禍での あじさいネットTV会議の 活用方法

新型コロナウイルス感染症が拡大し、当院でも院外の方の病棟への立ち入り、家族の面会にも制限がかかる状況となりました。当院でクラスターが発生したこともあり、退院支援を中断せざるを得ない状況になり、またその後の市中感染拡大のため、退院時共同指導をTV会議でという在宅の先生方の依頼が増えてきました。コロナ禍でも急性期病院としてできるだけ退院支援を止めず、先生方のお申し出に応じ、対面とTV会議での退院時共同指導のどちらもスムーズに行える

よう、部署内のマニュアル作成を行いました。

TV会議までの流れとしては、①在宅医の先生方と日時を相談した後、あじさいネット拡充プロジェクト室にTV会議の申し込みを行う。②必要機材や会議室を院内予約し、事前にあじさいネット拡充プロジェクト室のTV会議サポート担当の方とテスト接続を行う。③実際に操作を教えて頂いた後に会議を実施。④③の流れで実施し、会議中にもあじさいネット拡充プロジェクト室のTV会議サポート担当の方が入ってくださるので、トラブルがあった際も迅速に対応して頂き、円滑にTV会議を行う事が出来ます。

初めてTV会議を行うスタッフは、機器の設定や操作方法に不安を持つことが多かったため、当院ではTV会議を経験したスタッフがサポートするようにし、必要時2名体制で対応できるようにしています。また、慣れてくると一人でTV会議を実施し「思ったより難しいことではなかった」と思うスタッフもいるようです。他の医療機関でも、連携室等の退院支援スタッフがスムーズにTV会議を行えるよう、部署内の協力やサポート体制を作ることが大切と考えます。

あじさいネットで かかりつけ医と リアルタイムで情報共有

入院中の患者さんの退院前の連絡を行う際、かかりつけの先生に「あじさいネットで見たから、大体状況は分かるよ。」と言っていたこともあり、あじさいネットはかかりつけの先生とリアルタイムで情報共有できるツールだと考えます。また、退院された患者さんについて、在宅スタッフの方があじさいネットの患者メモに情報を記入していただける場合や、患者さんの自宅生活の画像を送って頂くこともあります。入院中には見られなかったような笑顔でご家族と過ごされている様子を拝見すると、自宅退院への支援に携わることができ良かったとやりがいを感じます。そして、その様子を入院中担当していた主治医や病棟看護師とも共有できます。

TV会議を通して 多職種連携への充実

現在のTV会議を利用した退院時共同指導は、基本的に病院と診療所を繋いで行っており、かかりつけ薬局や訪問看護事業所、居宅介護支援事業所などとはまだTV会議の体制が整っていない事が多いようです。各専門職がそれぞれの事業所からTV会議に参加できるようにになれば、多職種とつながる事ができ、さらに退院時共同指導や患者さんに関わる情報共有が充実したものになるのではないかと考えます。

長崎みなとメディカルセンター 患者総合支援センター TEL. 095-822-3251 (代) FAX. 095-821-1116

《賛助会員様広告欄》

ヘルスケアの未来を変えていく。

株式会社LSIメディエンス

臨床検査 / 健康診断サポート / 診断薬・機器 / 創薬支援 / 環境リスク評価 / 食の安全サポート / ドーピング検査

〒101-8517 東京都千代田区内神田一丁目13番4号

あじさいネットで自分の知識の整理と最新の知見を学ぶ

はらだ 内科医院 院長 原田 義高 先生



平成31年
あじさいネット
入会

あじさいネットへの入会のきっかけ

病院勤務の時より、電子カルテの画面表示をみるとあじさいネット経由で紹介元の先生より閲覧されている有無がわかっていたので、多少なりとも意識していました。その意識があると私のような無精者には、しっかりとカルテを書かないといけないと戒めにもなっていました。

今度は、患者さん情報を逆に閲覧する側になり、どれほど便利なものか？と興味を持って2019年7月開院とともに入会いたしました。

あじさいネットで日々勉強

あじさいネットは自分自身の日々の勉強にもなります。当方にとつては、得意とする分野またはそれ以外の分野の勉強にもなっています。日々の診療に追われ、気づいたら月日が流れていると感じる次第ですが、あじさいネットで紹介した患者さんのその後をみると病院の先生が、自分が気づいていなかったところまで、しっかりと診てくださっているカルテ記載そのものを拝見することがあります。改めて自分の知識を整理すること、最新の知見を学ぶことができます。

あじさいネットのTV会議システムの利便性に感激

当方は、在宅患者さんの退院前カンファランスで、井上病院とのTV会議をよく利用しています。勿論、現在はZoomなどのオンライン形式のカンファランスもありますが、あじさいネットのTV会議では、病院のカルテ、画像、熱型などを画面に提示しながら、それをもとに話し合いができます。まるで、その場においてカンファランスをしているような錯覚に陥るほどです。

在宅診療に関わるスタッフである訪問看護師さん、ケアマネジャーさん、また薬局の先生などの多職種間でも皆さんあじさいネットに加入されていれば、各々別の場所において遠隔でカルテ共有しながらのカンファランスも可能だと伺っております。

そのような退院前カンファランスにも保険点数の縛りもあるようなので、現在、平日の午後診療の閉まっている時間に、私は自分の診療所において、遠隔で、病院の先生、患者さん家族、最小限の在宅スタッフは病院に集まっていたいただき、時間さえあればTV会議カンファランスを行っております。以前のようになら、直接集まるために、昼休み時間、診療終了後の夕方など無理やり時間を作り、カンファランスしていた頃を考えると雲泥の差です。コロナ禍でもない限りここまで利用しなかったかもしれないませんが、このTV会議利用はもっと多くの方々が使われるべきかと思えます。

休日は息子と一緒にカブトムシの飼育

患者さんからいただいたカブトムシをきっかけに、時間をみつけ息子と一緒にカブトムシ育てに取り組んでいます。現在20〜30個近くの卵を土の中に埋めています。

もうすでに卵から幼虫へ育っているものもあり成長の早さに驚くばかりです。以後は、約8か月間の幼虫の期間、その後1か月間の蛹の期間を経て翌年の6月頃よりふ化する流れのようですので楽しみに経過をみたいと思います。来年のカブトムシ誕生のころには是非ともこのコロナ禍の状況が少しでも改善していることを期待してやみません。

はらだ内科医院 TEL. 095-801-3333 FAX. 095-801-3331 E-mail: taka-s562@grace.ocn.ne.jp

《賛助会員様広告欄》

あじさいネット向け

オンライン資格確認 + オンライン請求

オンライン資格確認導入オプション
「おまかせパック」提供中

ご相談・お問い合わせは

株式会社 NTT データ中国

オンライン資格確認接続サービス推進事務局

メール: onshi@its-center.net

現地設置・接続を含まない「おまかせパックライト」も承ります

施設ごとのネットワーク環境に合わせて

NTT DATA



セットアップ済み機器をお届けします



現地での設置・接続もおまかせください



あじさいネット説明同意書の送付先一覧

AJISAI NET

見やすいところに貼ってご利用いただくと便利です

(2021年7月現在：情報提供病院10施設)

	医療機関名・受付時間 (日曜・祝日は全施設受付なし)	FAX 番号	電話番号
県央・佐賀・島原	国立病院機構 長崎医療センター 地域医療連携室 (平日 8:30-17:00 土 受付なし)	0120-731-063	0120-731-062
	市立大村市民病院 地域医療連携室 (平日 8:30-17:15 土 受付なし)	0120-378-375	0957-52-1800
	国立病院機構 長崎川棚医療センター 地域医療支援センター (平日 8:30-17:15 土 受付なし)	0120-82-2970	0956-82-3121
	諫早総合病院 医療連携室 (平日 8:30-17:00 土 受付なし)	0120-1388-35	0957-22-1380
	貞松病院 地域医療連携室 (平日 9:00-17:00 土 受付なし)	0957-54-1165	0957-54-1161
	愛野記念病院 地域医療連携室 (平日 8:30-17:00 土 受付なし)	0957-36-7072	0957-36-3950
	諫早記念病院 医療連携室 (平日 9:00-17:00 土 受付なし)	0957-22-2903	0957-22-0370
	日赤長崎原爆諫早病院 医療連携室 (平日 8:30-16:30 土 受付なし)	0957-43-2870	0957-43-2111
	南野病院 地域医療連携室 (平日 9:30-16:30 土 受付なし)	0957-54-8752	0957-47-5200
	宮崎病院 地域医療連携室 (平日 8:30-17:00 土 受付なし)	0957-25-7053	0957-25-4800
国立病院機構 嬉野医療センター 地域医療連携室 (平日 8:30-17:15 土 受付なし)	0120-473-489	0954-43-1213	
長崎県島原病院 地域医療支援センター (平日 9:00-17:00 土 受付なし)	0957-63-6544	0957-63-1145	
五島・杵岐・対馬	長崎県上五島病院 地域医療連携室 (平日 8:30-17:15 土 受付なし)	0959-52-8150	0959-52-3000
	長崎県五島中央病院 地域医療連携室 (平日 8:30-17:00 土 受付なし)	0959-75-0657	0959-72-3181
	長崎県杵岐病院 地域包括健康増進センター (平日 8:30-17:15 土 受付なし)	0920-47-1136	0920-47-1135
	光武内科循環器科病院 地域連携課 (平日 9:00-16:30 土 受付なし)	0920-48-1655	0920-47-0023
	長崎県対馬病院 地域連携室 (平日 8:30-17:15 土 受付なし)	0120-765-191	0920-54-7172

あじさいネット説明同意書は、必ずこの表に記載のFAX番号あてに送信してください。
 同じ病院内でも違う番号(代表番号等)あてにFAXすると、処理に時間がかかる場合があります。





あじさいネット説明同意書の送付先一覧

AJISAI NET

見やすいところに貼ってご利用いただくと便利です

(2021年10月現在：情報提供病院37施設)

	医療機関名・受付時間 (日曜・祝日は全施設受付なし)	FAX 番号	電話番号
長 崎 市	光晴会病院 地域医療連携室 (平日 8:30-17:00 土 8:30-12:00)	0120-573-632	095-857-3563
	十善会病院 地域連携室 (平日 9:00-17:00 土 受付なし)	095-801-2590	095-801-2599
	長崎大学病院 地域医療連携センター (平日 8:30-17:00 土 受付なし)	095-819-7305	095-819-7930
	長崎みなとメディカルセンター 患者総合支援センター (平日 8:45-17:00 土 受付なし)	095-821-1116	095-822-3251
	日赤長崎原爆病院 病診連携室 (平日 8:30-17:00 土 受付なし)	0120-845-262	0120-845-261
	済生会長崎病院 地域医療連携センター (平日 8:30-17:00 土 受付なし)	095-827-7025	095-827-7021
	聖フランシスコ病院 地域連携科 (平日 9:00-17:00 土 9:00-12:00)	095-845-7600	095-846-2553
	井上病院 地域連携室 (平日 9:00-17:00 土 9:00-12:00)	095-849-6622	095-844-1281
	長崎記念病院 地域連携室 (平日 8:30-17:00 土 受付なし)	095-871-1510	095-871-1515
	長崎北病院 診療録管理室 (平日 9:00-17:00 土 9:00-12:00)	095-886-8707	095-886-8700
	虹が丘病院 地域医療連携室 (平日 8:30-17:00 土 8:30-12:30)	095-856-1102	095-856-1112
	上戸町病院 地域連携室 (平日 9:00-17:00 土 受付なし)	095-832-5616	095-832-5615
	国立病院機構 長崎病院 地域医療連携室 (平日 8:30-17:15 土 受付なし)	095-808-0176	095-824-2788
	重工記念長崎病院 地域連携・入退院支援センター (平日 8:30-17:00 土 8:30-11:30) ※ 第2・第4土曜のみ受付	095-801-5520	095-801-5517
	長崎北徳洲会病院 医局 (平日 9:00-17:00 土 受付なし)	095-813-5862	095-813-5861
長崎百合野病院 地域連携室 (平日 8:30-17:00 土 8:30-12:00)	0120-857-057	095-857-3366	
県 北	佐世保市総合医療センター 地域連携センター (平日 8:30-17:15 土 受付なし)	0956-24-0474	0956-24-1515
	佐世保中央病院 地域医療連携センター (平日 8:30-17:30 土 8:30-12:00)	0800-7000-070	0120-33-8293
	佐世保共済病院 医療連携室 (平日 8:30-17:30 土 受付なし)	0120-12-2067	0956-22-5136
	長崎労災病院 地域医療連携室 (平日 8:15-17:00 土 受付なし)	0120-666-437	0956-49-2191

あじさいネットを利用し 患者様との良好な関係を構築

たなか きょうえ
たなか循環器内科 院長 田中 協栄 先生

あじさいネットを 知るきっかけ

あじさいネットを知ったのは14年以上前、長崎医療センターに勤務する少し前でした。同病院に勤務していた同級生と話をする中で、あじさいネットの話となりました。「そんなシステムがあるのか、便利な世の中になつたな」と感心したのを思い出します。その後、長崎医療センターに勤務しましたが、その時はカルテを「見られる立場」でしたので、電子カルテに「あじさいネット登録」の記載があると、少し緊張したような気がします。2008年に開業し、すぐにあじさいネットに入会しました。

あじさいネットをネット サーフィンの利用

一番使っているのは「あじさいネットサーフィン」的な利用です。特定の目的がなくても、登録患者さんの情報を適宜閲覧しています。特にカルテ一覧で上位に配置されている患者さんは基幹病院で直近に診療されていることが多く、確認するようにしています。基幹病院での検査結果などを確認しておくことで当院での診療がスムーズになりますし、情報を確認していることを患者さんに伝えると、喜ばれることが多く、患者さんとの関係構築にも役立っています。

開業医と基幹病院の先生 方との良い関係を構築

「あじさいネットサーフィン」では基幹病院での診療を垣間見ることが出来ますので、参考にさせてもらっています。開業すると他の先生方の診療スタイルを知る機会がなく、独りよがりの診療になりがちですが、あじさいネットを通じた情報の閲覧は自身の診療レベル維持にも役立つと思っています。これに関してはあじさいネット本来の目的から逸脱するような気もします。基幹病院の先生方には申し訳ない気もします。

今のところ特に不満はなく、有効に活用させてもらっています。逆に機能が増えてきて、使いきれない状態です。これに関しては私の勉強不足なので、不満点はありませんね。

休日の過ごし方

二人の娘は高校生・中学生となり、家族みんなで出かける機会は減りました。というより、娘が相手をしてくれなくなりました……。代わりに飼っている猫と戯れています。白猫「ベル」はとても人懐っこく、癒されます。数年前からピアノをやっています。なかなか上達しないので、挫折気味です。ただ暇つぶし、気分転換にはなりますので、ピアノはマイペースで続けようと思っています。

たなか循環器内科

TEL. 0957-50-0320 FAX. 0957-50-0319 E-mail : tanaka.clinic@cnc.bbq.jp

《賛助会員様広告欄》

私達はグループ一丸となって、長崎力を最大限活用し、企業理念の実現を目指します。

臨床検査向けシステムの開発において、最適で最高のシステムをお客様にご提供いたします



D-solution ディーソルグループ

株式会社ディーソルNSP
代表取締役社長 今村 勇雄

〒850-0057 長崎県長崎市大黒町 11-8 長崎東京生命館7階 Tel: 095-821-4361 Fax: 095-821-4362

あじさいネットの KEY PERSONに聞く



クロスインダストリービジネス本部
シニアディレクター 田中 良樹 氏

富士通Japan株式会社

富士通Japanは、富士通および関連会社のうち、ヘルスケア、行政、教育、民需と地域社会に関わる部門が集まり、地域での課題解決力の強化を目指し発足した会社です。あじさいネット様向けにはHumanBridge、各医療機関様向けには電子カルテを中心とした各ソリューションを提供させていただいています。

あじさいネットとの関わりはいつ頃からどのような案件でしたか？

私自身は2008年にHumanBridgeの前身である地域医療ネットワークシステムを長崎医療センター様に導入したのが最初でした。その後あじさいネットが大村市から長崎市に拡大するにあたってHumanBridgeの開発、その後全県に広がった各医療機関様への導入のご支援に携わらせていただいています。

他の地域医療ネットワークと比べてあじさいネットはどう思われますか？

あじさいネットの運営にあたって積極的に取り組んでおられる先生方が、他地区と比較してとても多く、チームワークが良いと感じています。また会費を中心に補助金に頼らずに運営されている点は、他地区から見ても参考になるネットワークワークだと思っています。

あじさいネットを利用している病院との関わり合いは？

HumanBridgeを導入いただいている病院様、ご利用いただいている診療所様、薬局様などを中心に関わらせていただいています。私自身は開

発部門であるため直接病院様と接する機会はそれほど多くはありませんが、あじさいネット研究会はじめ、直接お話を聞ける機会は大変貴重だと感じています。

あじさいネットについての感想や今後期待する事はありますか？

今後、地域包括ケアやスマートシティなど、地域社会をどのように構築していくかが益々重要となってくると考えていますが、あじさいネット様には、地域で協力しながら豊かな社会を実現していくモデルの先駆者であり続けていただきたいと思います。富士通Japanとしては、あじさいネット様に学ばせていただきながら、ヘルスケアだけでなく行政、教育、民需分野にも専門部隊がありますので、これを活かして豊かな長崎の実現に向けたご提案をしていければと考えています。

富士通Japan様からみたあじさいネットはどのような感じますか？

全国的にみても運営がしっかりしており、活発に利用されている他地区の模範となる地域医療ネットワークだと思っています。また研究会後の懇親会などではベンダーも温かく

迎い入れてくださるので、いつも大変楽しみにしています。

長崎県についてどのように感じますか？

長崎の海があり対岸に陸がありそれを結ぶ橋がある風景が、私が育った下関と似ているなと親近感を覚えています。長崎の観光スポットは修学旅行でまわりましたが、時間を作って改めて回ってみたいと思っています。また魚がとても美味しいのが魅力だと思います。

長崎へ来られる際に必ず行く場所やお店はありますか？

大村に行った際はじげもん屋さん、長崎はたくさん美味しいお店がありますが、コロナ禍になる前はメド満福さんのカレーちゃんぽんを食べるのが恒例になっていました。またバタバタと飛行機で移動することが多いので、よく空港にある牡丹さんでちゃんぽんや皿うどんを食べ歩いて帰っています。コロナ禍で長崎の美味しいものを堪能する機会がなくなっているのは残念な限りです。また長崎を訪問できるような素敵なお店を紹介してください。



《賛助会員様広告欄》

「つなぐ医療」から、
「支える医療」へ。

富士通は、医療の未来をカタチにしていきます。

地域医療ネットワークの整備が進むなか、富士通は、地域と住民を「支える医療」にいち早く着手。災害時の事業継続、ビッグデータによる個別化医療、創薬の加速化をサポートします。

HumanBridge EHRソリューション

製品・サービスについてのお問い合わせは
富士通コンタクトライン (総合窓口) 0120-933-200 (受付時間 9:00~17:30 土・日・祝日・年末年始を除く)
<http://jp.fujitsu.com/solutions/medical/products/humanbridge/>

shaping tomorrow with you

社会とお客様の豊かな未来のために



あじさいネットの機能一覧

あじさいネットは長崎県内の医療機関をつなぐネットワークシステムです。

あじさいネットは病診連携の機能だけでなく、様々な機能を加えながら、「進化」し続けています。



病診連携・病薬連携・病病連携 (カルテ共有)

情報提供病院のカルテ、画像、検査結果などの診療情報を共有することで、過去の病歴や併存症を正確に把握し、より質の高い医療提供に役立てられます。



多職種連携 (在宅医療)

複数の医療機関の様々な職種の方々との間で患者さんの情報を共有できます。在宅医療や専門に特化した診療に役立てられます。



セキュアメール (暗号化メール)

あじさいネット内でのみ送受信できるメールサービスです。高度に暗号化されているので安全に患者さんの診療情報を他院に送ることができます。



検査データ共有サービス

外注検査会社に依頼した検査結果をあじさいネット上で閲覧できます。さらにこの検査結果を他の診療所や病院と共有することが可能です。



AMEC TV会議

あじさいネットに繋がる端末に、カメラや音声機器をセットし、あじさいネットにログインすれば、どこでも手軽にTV会議やカンファランスに参加できます。



AMEC ビデオ配信

医療従事者の知識・技術取得向上の為に開催されている研修会や講演会を録画配信していますので、あじさいネット上でいつでも視聴できます。



糖尿病疾病管理

糖尿病を持つ患者さんの診療情報を複数の医療機関で共有し、糖尿病診療の質向上を目指しています。



周産期医療支援ネットワークシステム「すくすく」

母子の記録・情報を管理し、安全な出産と健全な発育の支援をしています。また、救急搬送時、周産期センター側は、妊婦さんの到着前に詳細な妊婦さんと胎児の経過を把握することが可能です。



地域連携パス【テスト運用中】

診療所と情報提供病院の医師が、患者さんの治療を協力して行うために治療経過を共有する治療計画表・管理表の電子版です。専門外の分野でも安心して診療ができるようシステムサポートしています。

**あじさいネットには
こんなサービスもあります！！**

時間外対応サービス

夜間休日でも新規患者の病診連携・病薬連携・病病連携(カルテ共有)が行えるサービスです。夜間休日は病院の登録窓口が閉まっているため患者登録ができませんでしたが、あじさいネットではそれが可能になりました。



より良い医療のために
あなたも、あじさいネットに参加しませんか。

あじさいネット 入会のご案内 【閲覧施設用】

情報提供病院の入会については手続き・費用とも本ページの記載と異なりますので、あじさいネット事務局にお問い合わせください。

入会申請から利用開始までの流れ

入会申請書を提出する

入会申請書に必要な事項を記入し、あじさいネット事務局へ提出します。（申請書はホームページからダウンロードできます）

施設が新規に入会する時に必要な書類

- 施設入会申請書【情報閲覧施設用】
- 機器設置ヒアリングシート
- 入会する人数分の 個人入会申請書

運用講習会を受講する

あじさいネットの概要や、利用に際し必要な事をご説明する「運用講習会」を受講していただきます。

（講習会の日時や場所は、入会申請受理後にご案内いたします）

受講が終わると、「あじさい会員ID」が発行されます。

機器を設置する

あじさいネットを利用するために必要なVPN機器の設置をするため、専門業者が施設にお伺いいたします。

（設置の日程については入会申請後、専門業者よりご案内いたします。）

初期費用・利用料のお支払い

入会金・初期設定費用・利用料をお支払いいただきます。

※「利用料」は会費およびシステム料・ウイルス対策費用で、毎年10月以降に1年分を請求します。入会時は機器設置の翌月から9月分までを一括でお支払い下さい。

ご利用開始

これであじさいネットが利用可能です。

患者さんから同意書を取り、情報提供病院にFAXすると約15分で（※）診療情報が閲覧できるようになります。皆様の日々の診療にぜひお役立て下さい。

（※ 多人数登録の同意書については設定に15分以上かかる場合があります。）

あじさいネットは、医療関係機関を強固なセキュリティネットワークでつなぎ、様々な情報をやりとりできる全国屈指の医療連携ネットワークシステムです。あじさいネット上では、情報提供病院の診療情報を閲覧するサービスを始めとして、その他にも様々なサービス・機能を提供しております。今後さらなる機能拡張・追加を予定しています。

入会申し込みからご利用開始までの手順は、左記の通りです。たくさんの方の医療関係機関の参加をお待ちしています。

特別な機器は不要です

通常のインターネットができるWindowsパソコン環境があればお申し込みできます（Mac OSでは動作保証なし）。

それ以外に事前に準備するものはありません。（※）

※TV会議を利用するにはパソコンに接続できるマイク・スピーカー・WEBカメラが必要です。

モバイルでも使えます

あじさいネットはiPadでも利用でき、在宅診療等にとても有用なツールとなります。ただしご利用できるのはパソコンであじさいネットに接続できる（VPN機器が設置されている）会員施設限定で、iPadのみでの入会利用はできません。

また、通常の利用料と別にiPad1台につき月額770円が必要（※）です。

※暗号化通信および本体紛失時対応のための証明書ライセンス料になります。

申請書類ダウンロード：あじさいネットホームページ
<http://www.ajisai-net.org/>
 「医療関係の皆さま」→「入会・退会申請書」のページからダウンロードしてください。

閲覧施設の皆さまが入会する場合の

入会時の費用

所属団体が入会済なら無料!

入会金

(1施設ごと)

50,000円

初期設定費用

(VPN機器1台)

30,000円

※ 所属団体（医師会、薬剤師会等）が入会されている場合は、**入会金が無料**になります。

※ 施設の種別が「病院」の場合は病床数により金額が変わります。詳しくは事務局へお尋ねください。

入会についてのお問い合わせ先

あじさいネット事務局
(長崎県医師会内)

095-844-1111

閲覧施設の皆さまの 会員区分とご利用料金

	正会員	準会員*	ポータル会員*	システム料 (VPN機器1台)	ウイルス対策ソフト ライセンス料 (パソコン1台毎)
年会費 (1年分一括払い)	36,000円 (月額3,000円)	12,000円 (月額1,000円)	2,400円 (月額200円)	12,000円 (月額1,000円)	3,000円
利用できる機能	あじさいネット 基本機能全て	あじさいネット 基本機能全て	希望する 1機能のみ	(価格は全て税込です)	
総会議決権	○	×	×		

※ 5人以上入会する施設は会費が割引になります。詳しい金額は事務局へお問い合わせ下さい。

※ 情報提供病院はこの表と金額が異なります。

* 1施設において、少なくとも1人は正会員となります。「準会員」または「ポータル会員」は、2人目以降の入会者について選択可能となります。

情報提供病院でのあじさいネット利用が活発化してきました

あじさいネットOFFLINE通信 編集長 松本武浩

あじさいネットの病病連携は、2013年に長崎市全情報提供病院と離島地域の情報提供病院間で協定書結びスタートしました。これまでに、情報提供病院間での診療情報共有、TV会議の利用、多職種連携機能やネットワークパスの利用、代行同意運用によるコンサルテーションや搬送前トリアージなどが利用されています。特にTV会議は、電子カルテ画面そのものを共有できるためコンサルテーションや専門カンファレンスはもちろん、退院調整での利用にも利用されています。なお、代行同意書を利用した搬送前トリアージは、長崎みなとメディカルセンター整形外科と長崎大学病院外傷センター間で始まりましたが、福岡県第一号として入会した福岡和白病院と志岐病院および対馬病院間でも頻りに利用されています。また、訪問看護部門を持つ日赤長崎原爆病院、井上病院、重工記念病院、十善会病院では、多職種連携機能の利用も進みつつあります。COVID-19禍により、訪問診療

への移行前の退院時共同指導でのTV会議利用も増えています。同様に、COVID-19の影響として、長崎大学病院と井上病院では外来全端末からオンライン診療ソフトウェアであるYaDocそのものが利用できるよう設定し、手軽なオンライン診療に加え、井上病院では、YaDocを使った患者への栄養指導も始めました。このような電子カルテ端末からのYaDoc利用は、他の情報提供病院でも設定可能です。また、YaDocを利用するためには患者さんのスマートフォンに無料のYaDocアプリをインストールする必要がありますが、このアプリ上で、自宅での体温や血圧、SpO2等のバイタルデータや疾患毎の症状等を入力でき、電子カルテ上のYaDocアプリからこの結果を遠隔モニタリングできるので、診察時に自宅でのデータ経過を把握しながらの診療や状態変化時の遠隔評価や介入が可能で、他県でも、こういった機能は、COVID-19自宅療養患者の観察に活用されておりますが、もちろん

この広報誌のご感想をぜひ、あじさいネット拡充プロジェクトまでお寄せ下さい。
ajsai-project@nagasaki-med.or.jp



「長崎医療センター」が病病連携を開始しました

長崎医療センターとあじさいネットは8月9日に、病病連携を締結いたしました。これにより、長崎市と五島地域・県北地域に引き続き県央地域が初めて加わり、合計20の情報提供病院間においての相互連携が可能となりました。今後、県央地域の他の病院も参加していただけることを願っています。

病病連携が行える情報提供病院

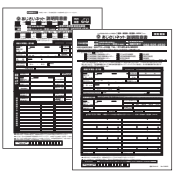
- 光晴会病院
- 虹が丘病院
- 十善会病院
- 上戸町病院
- 長崎大学病院
- 国立病院機構 長崎病院
- 長崎みなとメディカルセンター
- 重工記念長崎病院
- 日赤長崎原爆病院
- 長崎北徳洲会病院
- 済生会長崎病院
- 長崎百合野病院
- 聖フランシスコ病院
- 長崎県上五島病院
- 井上病院
- 長崎県五島中央病院
- 長崎記念病院
- 佐世保市総合医療センター
- 長崎北病院
- 長崎医療センター

あじさいネット同意書が新しくなりました

あじさいネットでは、会員様の利便性を考慮し、同意書を改訂いたしました。改訂した同意書は次の3つです。

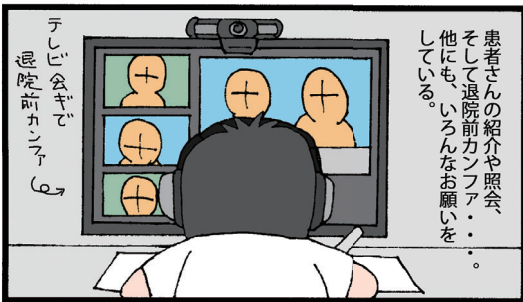
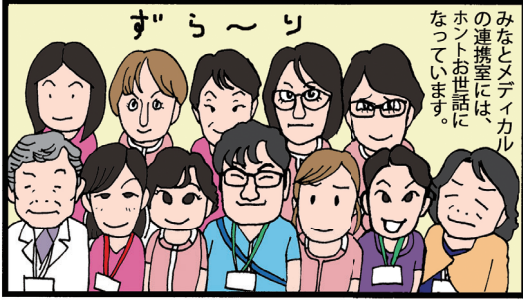
- あじさいネット同意書
- あじさいネット代行同意書
- 時間外専用同意書

「あじさいネット同意書と時間外専用同意書」「あじさいネット代行同意書と時間外専用同意書」を統一し、平日時間内と夜間休日の区分を無くし、同じ同意書にて利用ができるようになりました。これまでの同意書を印刷している方は印刷を破棄していただき、新同意書をご利用いただけますようお願いいたします。新同意書はあじさいネットホームページ または あじさいポータルサイトよりダウンロードできます。



あじさいな人々

たくま かずひこ



漫画制作：たくま医院 院長 詫摩和彦先生 (長崎市医師会所属/長崎在宅Dr.ネット副理事長)

あじさいネットからのお知らせ